

請願受理番号 3

山口県農業試験場等跡地利用計画案の市民参加による検討協議会での審議を求める請願書

(総務委員会)

(要旨)

山口県は基本構想の協議の進め方については、先に市側で整理された意見を尊重する立場にあり、提出された案は県の検討協議会において審議するとの考えを示しています。

令和 7 年 2 月 1 3 日第 6 回農業試験場等跡地利用検討協議会において発表された山口県農業試験場等跡地利用基本計画（素案）の概要では、従来の基本構想を踏襲したもので具体的な提案に欠けており、市民参加により市側で検討した形跡もなく市民不在のままで素案作りがされています。

この基本計画案の策定にいたる市側の過程と、その計画案の内容については、多数の改善点があると考えました。そこで、「山口市協働のまちづくり条例」第 4 条に定める市民参加の検討協議会での審議を求めるよう、市議会においても市民の声を広く受け止める立場から慎重審議のうえ、市議会で採択され市政に対し働きかけられるよう請願するものです。

(理由)

(1) 山口県は基本計画案の協議の進め方について、山口市側の案を尊重するとの考えを示されているので、山口市の主体的な独自性のある案を作成して欲しい。

(2) 山口市は基本計画案の策定に向けて、市民と行政が連携して市民の意見を十分とり上げたうえ、検討協議会等で諮られるよう求

めます。

(3) 山口市協働のまちづくり条例第4条第2項の定める、山口市民が、山口市政に対して意見を提言する権利の行使として考えられます。山口市協働のまちづくり条例第22条第2項より、市は、市民からの市政に関する質問、意見、要望等に対し、適切に応えられるよう努めなければならないとされており、議会としても市への働きかけを望みます。山口県県民活動促進条例等の県・市の条例に照らして、住民自治が尊重される基本計画案が策定・提案されるべきと考えます。

(4) 国民生活の基盤となる公共サービスのあり方を定めた「公共サービス基本法」の第9条（国民の意志の反映等）に違反するような現状を是正し、住民不在のまま行政の独断で基本計画が策定されることがないように、議会としてのチェック機能を果たして欲しい。

(5) 当会の行っている署名活動の過程で、集合住宅や飲食店・販売店舗を誘致する案には山口市の中心部の衰退につながることを強く危惧する反対の意見が多数を占めています。短期的な企業の利益よりも、将来を担う子供たちに食料危機から地球を守ること農業体験や地元民より要望の強い浸水対策の強化では、流域の治水、防災拠点として地下貯水槽の設置や農地の有効利用と子供らの学ぶ体験型交流広場への意見が多数であったという市民の声に応えて欲しい。

(6) 山口県農業試験場等跡地利用基本計画（素案）の概要では、従来の基本構想を踏襲したもので具体的な提案に欠けており、市民参加により市側で検討した形跡もなく市民不在のままで素案作りがされています。この中で示されている民間による利活用を促進するエリアよりも公的な利活用を促進するエリアから順次、整備を着手するとしています。そうであれば、この公的エリアでは、自治体としてインクルーシブの教育からSDGs（持続可能な社

会）の実現に向け、市民の意見を十分反映したものを基本とし、地域コミュニティと子どもらとの交流広場、自然と遊ぶ体験の場、食と農及び生態系との共存を学ぶ場、農福連携の活動拠点及び子どもらの健全育成に向けた未来社会を創造する学ぶ場に相応しい機能をもたせるべきと考えます。

（７）山口商工会議所や中心商店街からは、１９９７年の大内地区へのショッピングモールの進出後の経験から、この基本計画案が商店街と市の中心部の衰退に直結するという危惧があり、四半世紀にわたる商店街の賑わいに取り戻すための血のにじむような努力はどうかという声が強くなっています。計画づくりを拙速でなく１０年の経過が必要との意見を踏まえて、慎重に協議されることを希望します。

（８）基本計画案は、サウンディング型市場調査という手法の限界から、企業の短期的利益を最優先する、従来の箱物建設による開発事業型の計画案となっています。その結果世界経済と気候危機のなか食と農と生物多様性にとっての危機的な状況であるとの現状認識を持たれるよう強く求めます。中長期的には、今後管理費や償還等が生じて、山口市の財政を更に圧迫するものと考えます。基本計画案にある民間利用活用の区域を、いったん計画推進を立ち止まって、市民グループが提案する、子どもたちへの未来を支える農と環境を守り、生物多様性やまぐち戦略にも合致した区域として市民と行政が協働して維持するという提案を十分に配慮し進めるべきと考えます。

令和 7 年 6 月 4 日

提 出 者

山口市阿東徳佐中 1 6 9 4 — 2

山口市有機・環境保全型農業公園を
造る会

代表 生物文化多様性研究所所長

安 溪 遊 地

紹 介 議 員 尾 上 頼 子

紹 介 議 員 大 田 たける

山口市議会議長

入 江 幸 江 様